

## On Demand Seminar

# 勝つための方程式 9

勝つための方程式 9

## 当局の介入と、投機筋との戦い

2010年9月13日

講師 小林芳彦

Sep13

# ドルインデックス Daily

2

ドルインデックス(FINEX) FINEX New York Board of Tradeの金融部門  
Financial Instrument Exchange の略

ユーロ57.6%、円13.6%、ポンド11.9%、カナダドル9.1%、スウェーデンク  
ロナ4.2%、スイスフラン3.6%の構成比で加重平均したもの。

ドルインデックスからは明確な方向感が出てきていない。82.00-83.50の中で揉み合いを続けるイメージだが、ユーロドルの売り材料もあり、目先はユーロ円も波乱要因か？

U.S. DOLLAR INDEX CASH ... daily OHLC



As of 09/10/10

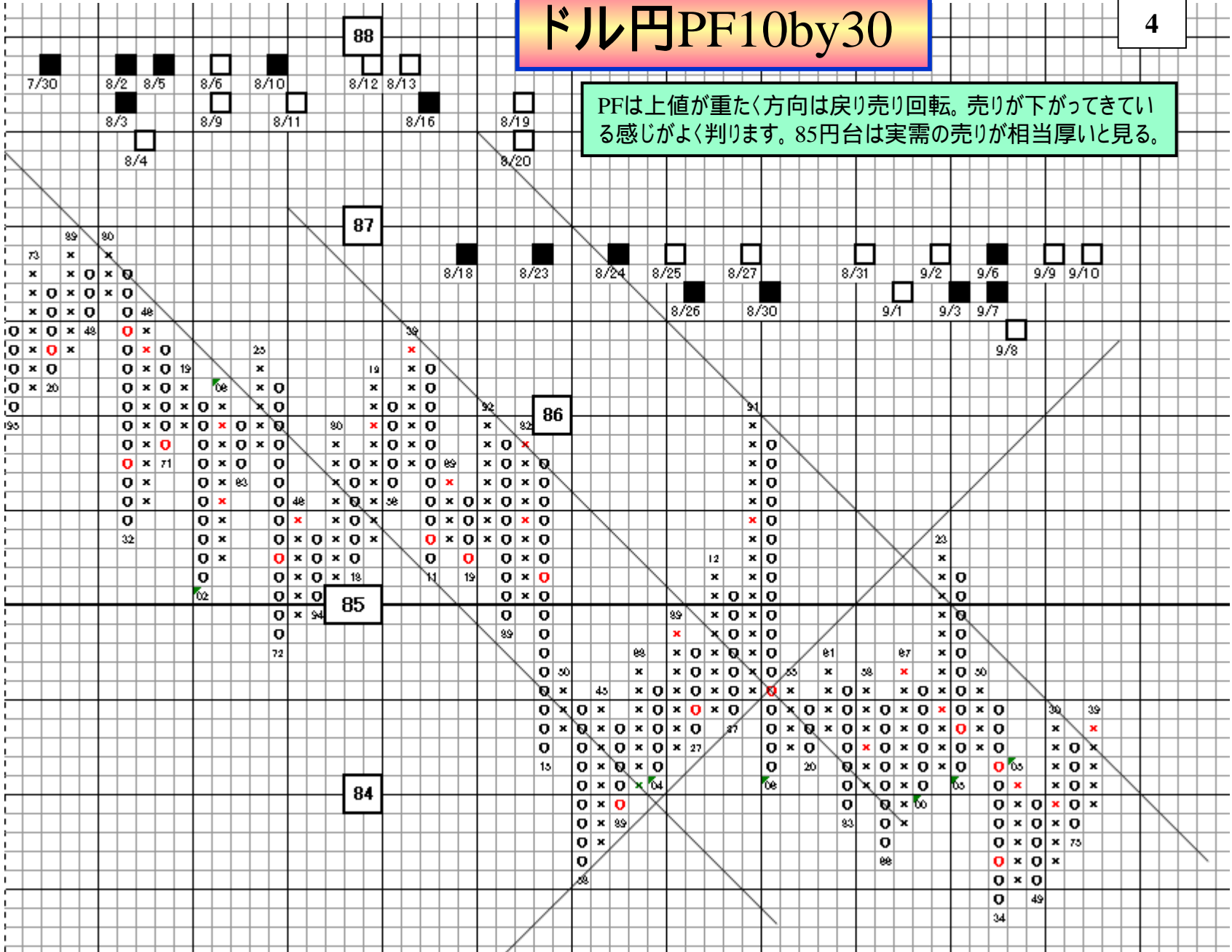
現状は82.00 - 83.50で揉み合いだが、84.00を抜けてくれれば85.00台まで早いかもしれない。下落しても80.00 - 79.50ゾーンのサポートが固そうに見える。ここから、構成比でもっともユーロドルの比重が大きいので、ドルインデックスの上昇 = ユーロドルの下落と捉えて大きな間違いはないと思う。

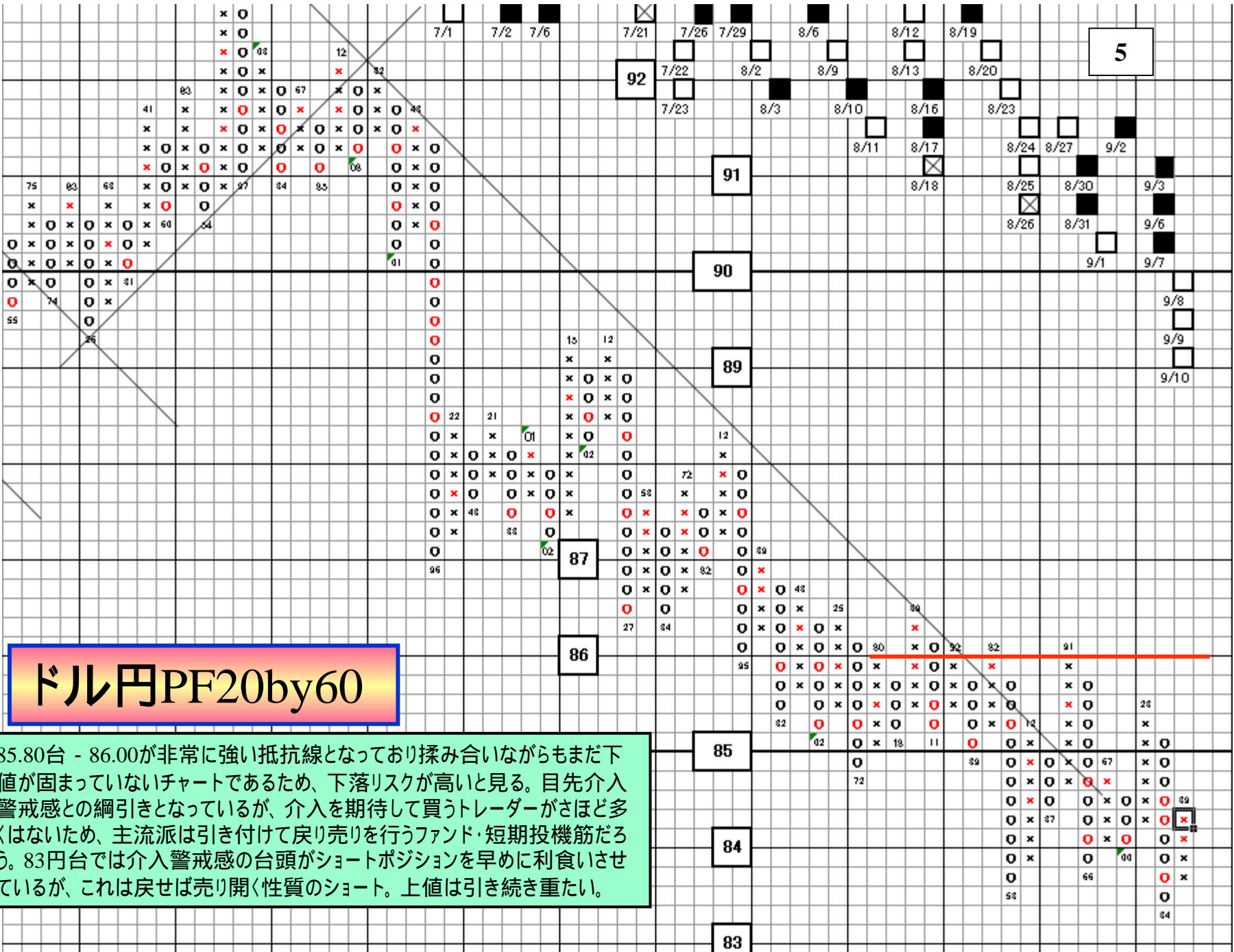
U.S. DOLLAR INDEX CASH ... weekly OHLC plot



# ドル円PF10by30

PFは上値が重たく方向は戻り売り回転。売りが下がってきている感じがよく判ります。85円台は実需の売りが相当厚いと見る。





# ドル円PF20by60

85.80台 - 86.00が非常に強い抵抗線となっており揉み合いながらもまだ下値が固まっていないチャートであるため、下落リスクが高いと見る。目先介入警戒感との綱引きとなっているが、介入を期待して買うトレーダーがさほど多くはないため、主流派は引き付けて戻り売りを行うファンド・短期投機筋だろう。83円台では介入警戒感の台頭がショートポジションを早めに利食いさせているが、これは戻せば売り開く性質のショート。上値は引き続き重たい。

5

92

91

90

89

87

86

85

84

83

9/8  
9/9  
9/10

28

39

34

Sep13

# ドル円 日足 チャート

6

USD/JPY 日足 ローソカ(BID) / / 検索

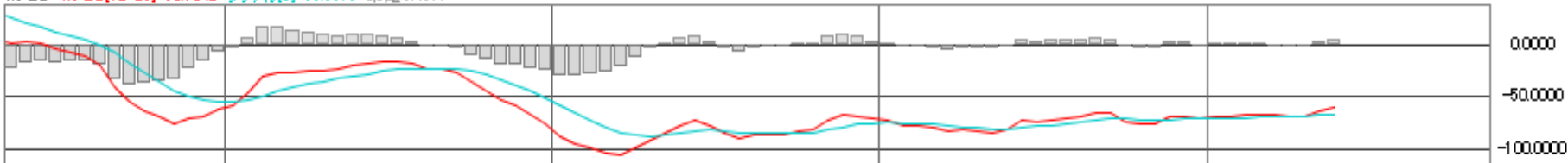
2010/09/13 始値:84.19 高値:84.34 安値:84.06 終値:84.13

一目均衡表: 基準値[26]84.86 転換[9]84.28 先行1[26]86.83 先行2[52]88.94 遅行[26]---

ボリンジャーバンド: 基準線[21]84.60 偏差A上[1.00]85.22 偏差A下[1.00]83.97 偏差B上[2.00]85.85 偏差B下[2.00]83.34



MACD: MACD[12-26]-60.1042 シグナル[9]-65.5613 乖離5.4571



始値:84.19 高値:84.34 安値:84.06 終値:84.13

100

Sep13

# ユーロドル 日足 チャート

7

EUR/USD 日足 ローソク(BID) / / 検索

2010/09/13 始値:1.2714 高値:1.2808 安値:1.2702 終値:1.2795

一目均衡表: 基準値[26]1.2947 転換[9]1.2780 先行1[26]1.3028 先行2[52]1.2604 遅行[26]---

ボリンジャーバンド: 基準線[21]1.2753 偏差上[1.00]1.2838 偏差下[1.00]1.2668 偏差上[2.00]1.2923 偏差下[2.00]1.2583

2010/06

2010/07

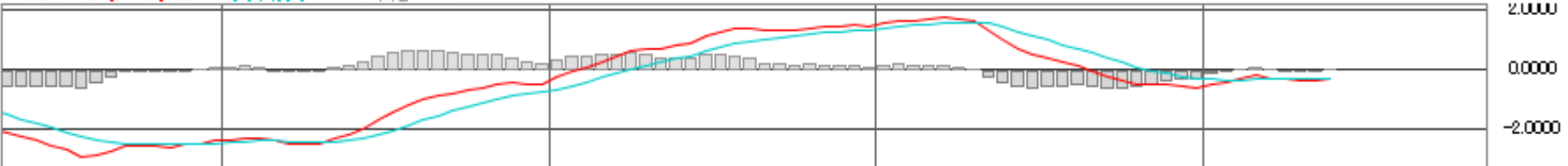
2010/08

2010/09

1.1876から1.3334まで上昇した1458ピップスの半値1.2605は8月24日の1.2588で達成済み。現状、日足の雲の中で方向感がはっきりしないが目先はユーロ堅調、ドル売りの流れかもしれないが、1.3000を超えてユーロ買いになるかどうかは、微妙。却って、1.2604に雲の下限があり1.2600割れのところにボリンジャーバンドの-2 が1.2583に位置する。これが割れたら前回安値も切っていることになるため、ユーロ売り圧力が一気に増すだろう。



MACD: MACD[12-26]-0.2719 シグナル[9]-0.2848 乖離0.0129



始値:1.2714 高値:1.2808 安値:1.2702 終値:1.2795

100

Sep13

# ユーロ円 日足 チャート

8

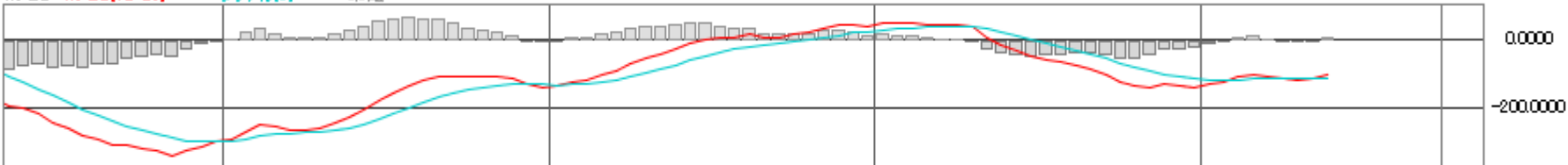
EUR/JPY 日足 ローソク(BID) / / 検索

2010/09/13 始値:107.08 高値:107.76 安値:106.93 終値:107.67

一目均衡表: 基準値[26] 転換[9] 先行1[26]111.70 先行2[52]111.01 遅行[26] 111.01  
ボリンジャーバンド: 基準線[21] 偏差A上[1.00] 偏差A下[1.00] 偏差B上[2.00] 偏差B下[2.00]



MACD: MACD[12-26] シグナル[9] 乖離



始値:107.08 高値:107.76 安値:106.93 終値:107.67

100



Sep13

# ポンド円 日足 チャート

9

GBP/JPY 日足 ローソク(BID) / / 検索

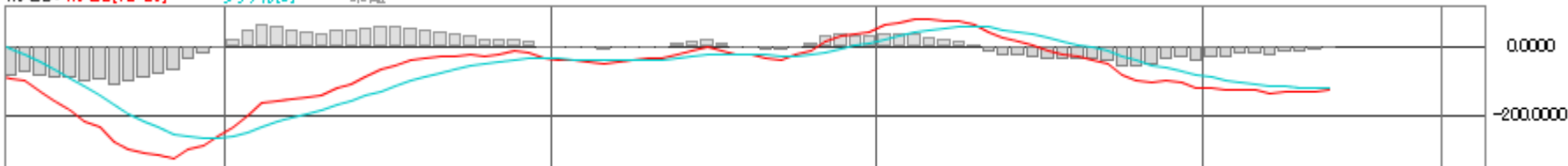
2010/09/13 始値:129.33 高値:129.78 安値:129.21 終値:129.66

一目均衡表: 基準値[26] 転換[9] 先行1[26]134.51 先行2[52]134.30 遅行[26] 130.95  
ボリンジャーバンド: 基準線[21] 偏差上[1.00] 偏差下[1.00] 偏差B上[2.00] 偏差B下[2.00]



ポンド円は5月20日の安値126.73から8月3日の高値137.77まで+11.04上昇したが、61.8%戻し130.95も下抜けており、目先は130円台が重たくなっている。目先はボリンジャーバンドの基準線130.90が重たいと考えている。この流れが変わるとしたら、ドル円が日本当局の介入で大きく戻したとき。それでもボリンジャーバンドの上限あたりで日足の雲もあり、135円台は非常に重たくなると見たい。

MACD: MACD[12-26] シグナル[9] 乖離



始値:129.33 高値:129.78 安値:129.21 終値:129.66

100

Sep13

# 豪ドル円 日足 チャート

10

AUD/JPY 日足 ローソク(BID) 検索

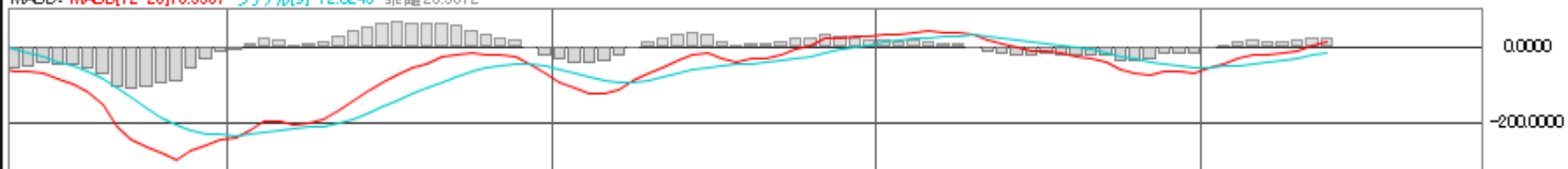
2010/09/13 始値:78.28 高値:78.49 安値:78.15 終値:78.26

一目均衡表: 基準値[26]76.18 転換[9]76.66 先行1[26]77.20 先行2[52]76.76 遅行[26]——  
ボリンジャーバンド: 基準線[21]76.44 偏差A上[1.00]77.55 偏差A下[1.00]75.33 偏差B上[2.00]78.67 偏差B下[2.00]74.22



豪ドル円はまでも見合いが続きそうですが、このところ、対ドルでの上昇基調が次第にはっきりしてきたこともあってクロス円の中では比較的買いから参入しても良いイメージがあります。出来れば74円以下、72円にかけて下がったところを引き付けて買いで入る。対ドルの下値0.8850と83円が固いならば73.50が固くなる計算。

MACD: MACD[12-26]16.5367 シグナル[9]-12.0245 乖離28.5612



始値:78.28 高値:78.49 安値:78.15 終値:78.26

100

Sep13

# ドル円 時間足 チャート

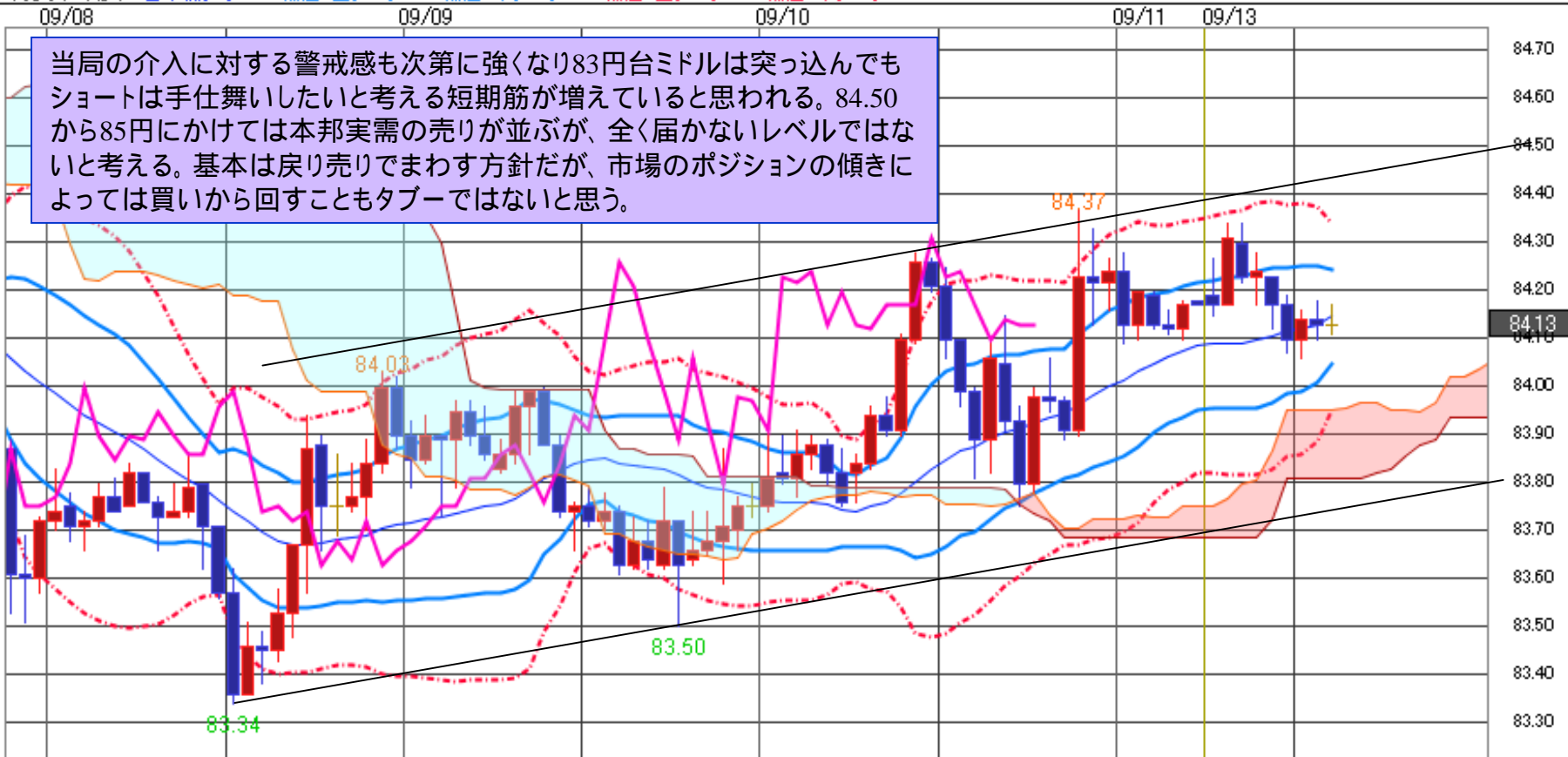
11

USD/JPY 60分足 ローソク(BID) / / 検索

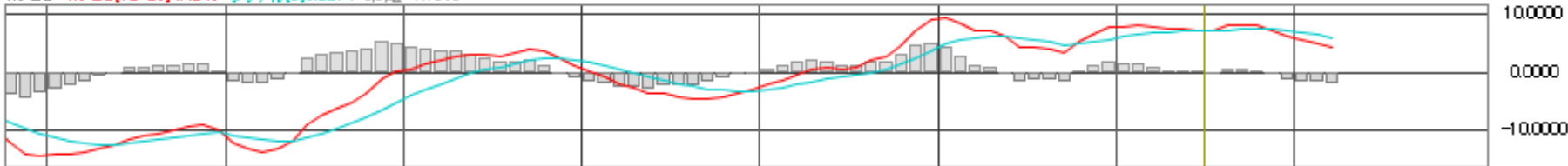
2010/09/13 14:00 始値:84.13 高値:84.17 安値:84.11 終値:84.13

一目均衡表: 先行1[26]83.95 先行2[52]83.81 遅行[21]—

ボリンジャーバンド: 基準線[21]84.15 偏差A上[1.00]84.24 偏差A下[1.00]84.06 偏差B上[2.00]84.34 偏差B下[2.00]83.95



MACD: MACD[12-26]4.4245 シグナル[9]6.2214 乖離-1.7969



始値:84.19 高値:84.34 安値:84.06 終値:84.13

100

Sep13

# ユーロドル 時間足 チャート

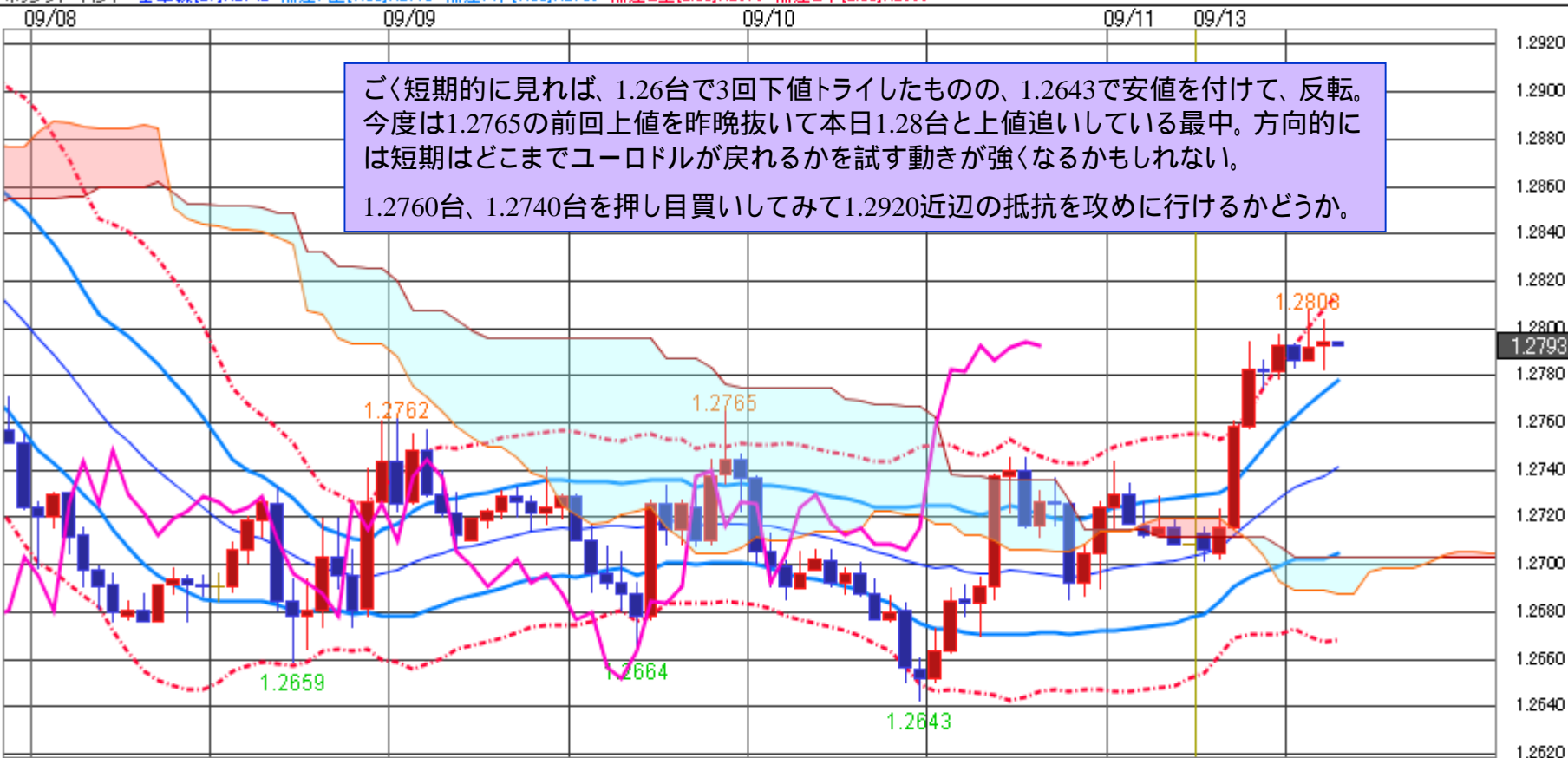
12

EUR/USD 60分足 ローソカ(BID) 検索

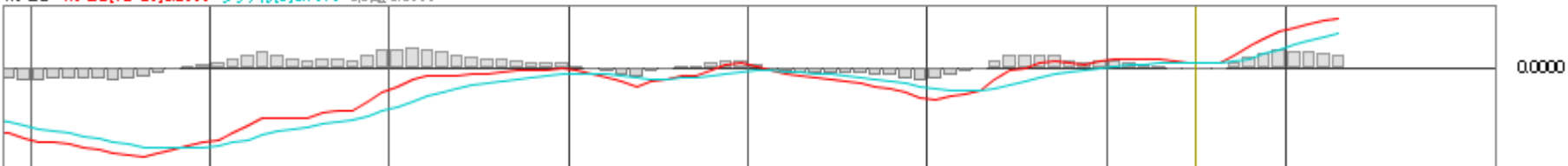
2010/09/13 15:00 始値:1.2795 高値:1.2795 安値:1.2793 終値:1.2793

一目均衡表: 先行1[26]1.2688 先行2[52]1.2704 進行[21]—

ボリンジャーバンド: 基準線[21]1.2742 偏差A上[1.00]1.2779 偏差A下[1.00]1.2705 偏差B上[2.00]1.2815 偏差B下[2.00]1.2668



MACD: MACD[12-26]0.2336 シグナル[9]0.1678 乖離0.0658



始値:1.2714 高値:1.2808 安値:1.2702 終値:1.2793

100

Sep13

# ユーロ円 時間足 チャート

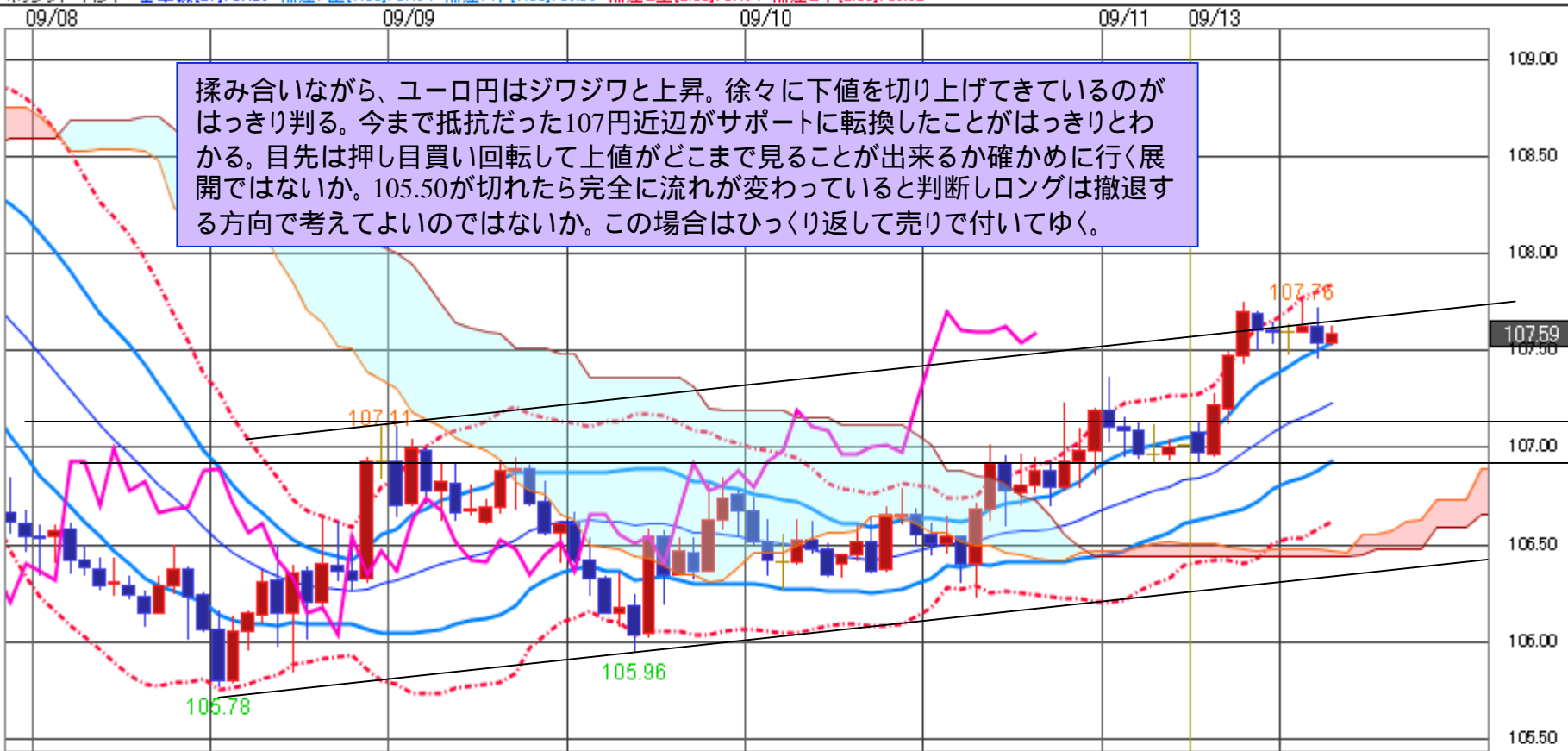
13

EUR/JPY 60分足 ローソク(BID) 検索

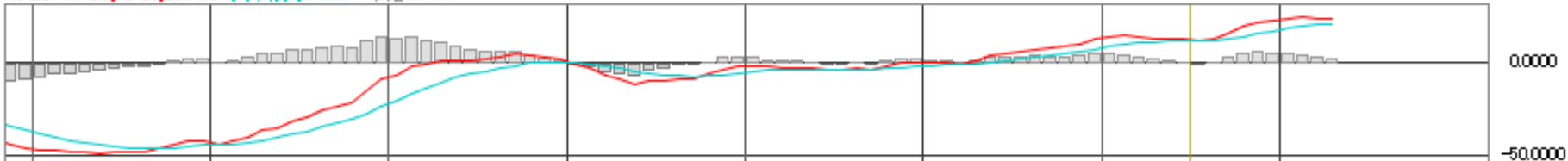
2010/09/13 15:00 始値:107.54 高値:107.63 安値:107.53 終値:107.59

一目均衡表: 先行1[26]106.48 先行2[52]106.44 遅行[21]—

ボリンジャーバンド: 基準線[21]107.23 偏差A上[1.00]107.54 偏差A下[1.00]106.93 偏差B上[2.00]107.84 偏差B下[2.00]106.62



MACD: MACD[12-26]23.5439 シグナル[9]21.2024 乖離2.3416



始値:107.08 高値:107.76 安値:106.93 終値:107.59

Sep13

# ポンド円 時間足 チャート

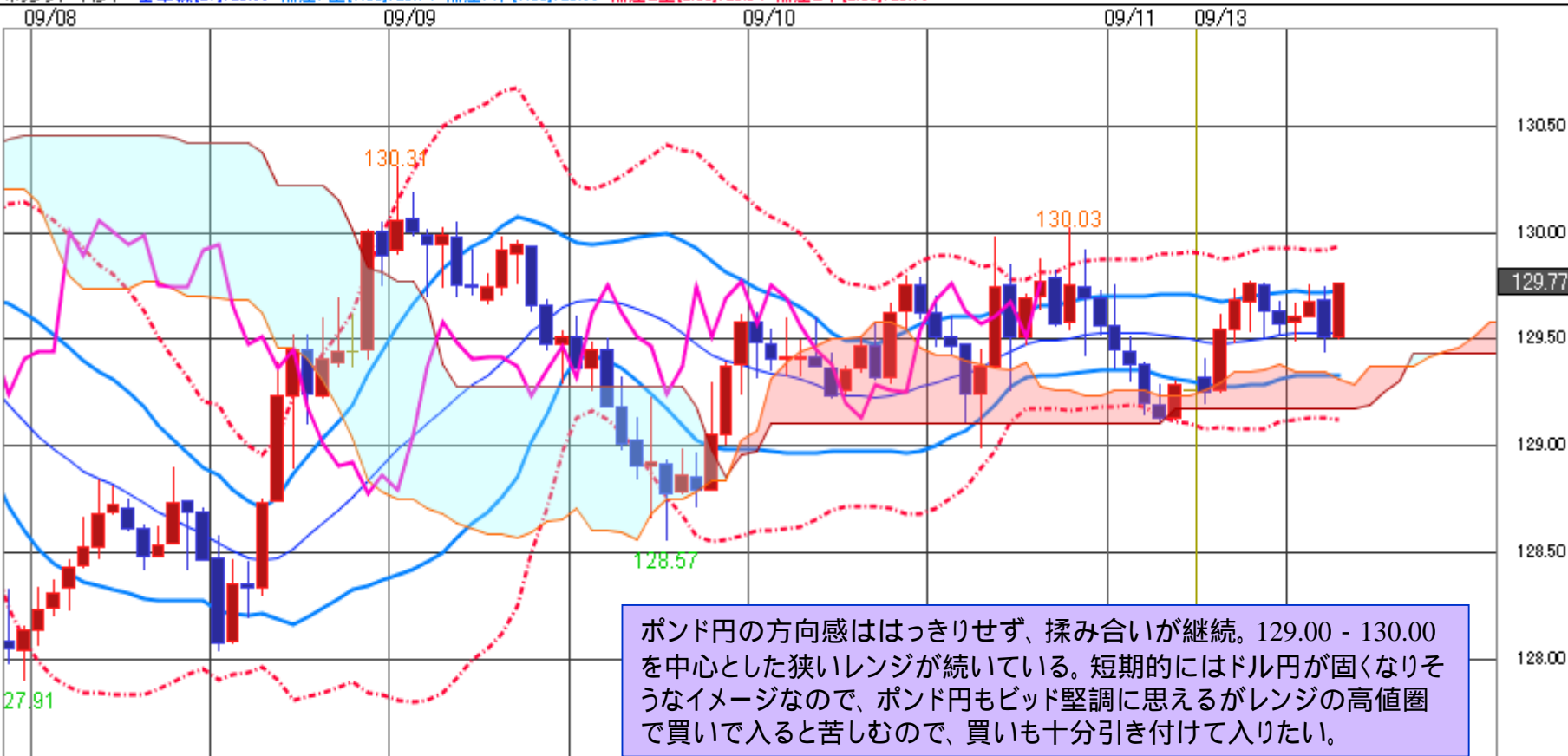
14

GBP/JPY 60分足 ローソク(BID) 検索

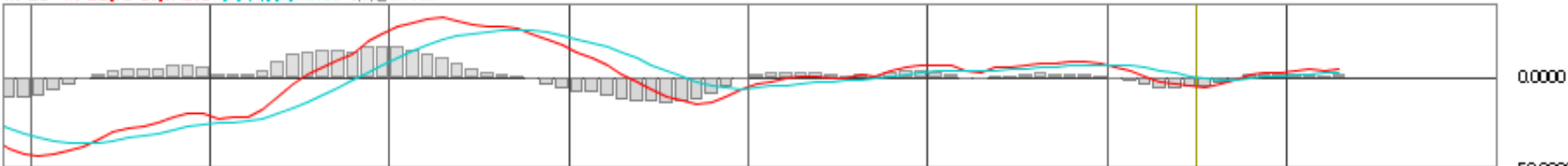
2010/09/13 15:00 始値:129.52 高値:129.77 安値:129.51 終値:129.77

一目均衡表: 先行1[26]129.32 先行2[52]129.18 遅行[21]---

ボリンジャーバンド: 基準線[21]129.53 偏差A上[1.00]129.74 偏差A下[1.00]129.33 偏差B上[2.00]129.94 偏差B下[2.00]129.13



MACD: MACD[12-26]5.4232 シグナル[9]3.2623 乖離2.1609



始値:129.33 高値:129.78 安値:129.21 終値:129.77

100

Sep13

# 豪ドル円 時間足 チャート

15

AUD/JPY 60分足 ローソク(BID) 検索

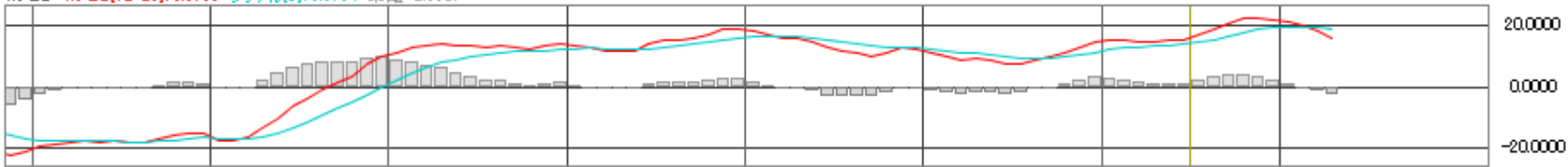
2010/09/13 15:00 始値:78.15 高値:78.20 安値:78.08 終値:78.10

一目均衡表: 先行1[26]77.45 先行2[52]76.85 遅行[21]---

ボリンジャーバンド: 基準線[21]78.07 偏差A上[1.00]78.29 偏差A下[1.00]77.86 偏差B上[2.00]78.50 偏差B下[2.00]77.65



MACD: MACD[12-26]16.3163 シグナル[9]18.8764 乖離-2.5601



始値:78.28 高値:78.49 安値:78.08 終値:78.10

100

Sep13

# 豪ドルドル 日足 チャート

16

AUD/USD 日足 ローソク(BID) / / 検索

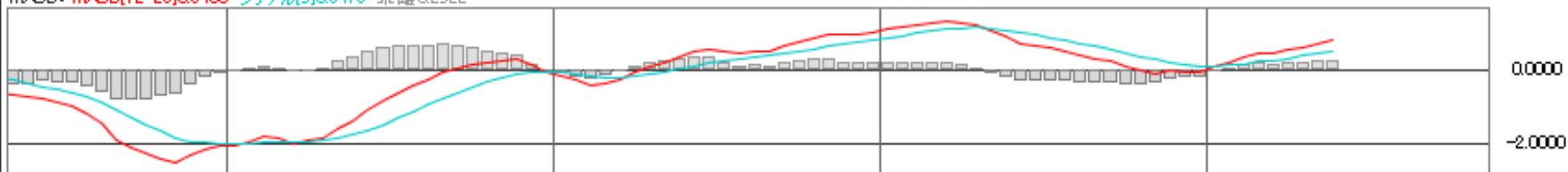
2010/09/13 始値:0.9295 高値:0.9319 安値:0.9287 終値:0.9313

一目均衡表: 基準値[26]0.9044 転換[9]0.9110 先行1[26]0.8916 先行2[52]0.8651 遅行[26]——

ボリンジャーバンド: 基準線[21]0.9036 偏差A上[1.00]0.9184 偏差A下[1.00]0.8888 偏差B上[2.00]0.9332 偏差B下[2.00]0.8740



MACD: MACD[12-26]0.8400 シグナル[9]0.5478 乖離0.2922



始値:0.9295 高値:0.9319 安値:0.9287 終値:0.9313

100



8月23日

仙谷官房長官

- 「首相と白川日銀総裁がけさ電話会談をした」
- 「首相と日銀総裁は為替動向含む経済金融情勢を意見交換」
- 「この段階では電話で話すことが最も適切」
- 「首相と日銀総裁、政府・日銀の緊密意思疎通の重要性で一致」
- 「首相と日銀総裁が直接会うことも今後検討したい」

日本銀行

- 「首相から総裁に電話があり、内外の金融経済情勢で意見交換」
- 「為替の動向を含め意見交換を行った」

仙谷官房長官

- 「為替介入の話、まったく出ていない」

野田財務相

- 「円高対策については一切話していない」

菅首相

- 「日銀総裁と電話でいろいろな意見交換をした」 **具体的にまだ為替に関して話し合いを行っていない。危機管理能力ゼロでしょう！ 何で円高の話が出ない？**

8月24日

野田財務相

- 「マーケットの動向に重大な関心」
- 「為替介入についてはコメントしない」
- 「日銀と緊密な連携をとる」
- 「今の為替の変動は明らかに一方向に偏った動き」
- 「機動的、適切に対応していくことが大事」

菅首相

- 「為替の急激な変動は好ましくないので、注意深く見ていきたい」 **この日辺りから、介入に関する議論が始まったか？**

8月25日

野田財務相

- 「必要ときに適切な対応とると首相に報告」
- 「市場動向を注意深く見守ってほしいと首相から指示あった」
- 「介入についてはコメントできない」

政府筋

- 「為替介入、排除していない」

8月26日

池田財務副大臣

- 「急激な円高は日本経済に好ましくない」

ユーロ圏関係者

- 「欧米では円高に関する懸念は強くない」
- 「円の協調介入の可能性低い、単独介入が現実的」 **単独介入に関して各国と水面下で打診を行った可能性高い**

8月27日

野田財務相

- 「円高の影響は深刻な状況」
- 「必要な時に適切に対応」
- 「為替は、昨日今日は小康状態」

17:23 菅首相

- 「為替市場の過度な変動は経済・金融の安定に悪影響、重大な認識持っている」
- 「必要な時などには**断固たる措置をとる**」 **この日から断固という表現が出始めた。**

8月30日

野田財務相

- 「注意深くみていく＝為替で」

8月31日

野田財務相

- 「足元の為替の動きは一方向に偏っている」
- 「必要な時には**断固たる措置をとる**」

池田財務副大臣

- 「急激な為替の変動には断固たる措置をとる」
- 「為替介入をした場合、日銀には非不胎化をしっかりとやらせよう必要」
- 「断固たる措置は与えられた権能、選択肢として排除しない」

水野・前日銀審議委員

- 「海外要因による円高をけん制する介入、一定の理解を得られるのではないかと」 **OBにも意見を求めているのか？**

9月1日

民主・小沢氏

- 「急激な円高には市場介入含むあらゆる方策を果敢に実施」

9月2日

民主・小沢氏

- 「円の評価が上がることは長期的に悪いことではないが、急激な円高は弱いものにしわ寄せ」
- 「急激な円高は何とか止めなければならぬ」
- 「為替介入を行うべきタイミングについて市場介入は、協調介入なら別だが、日本だけで、世界が円高を容認している中では効果はあがらないが、そのくらいの覚悟で今やるべき急激な速度での円高ではないか」

9月3日

民主・小沢氏 3日夜のNHK番組

- 「急激な円高は、外需に依存している日本経済、とりわけ一番被害を被るのはリストラされる社員や下請けの中小零細企業だ」
- 「急激な円高は阻止しなければならない」
- 「市場介入も日本一国だけではうまくいかない。他の国が円高を容認しているので日本だけではできないが、市場介入はもちろん、それ以外に円高を活用し海外資源に投資することも積極的にやることで急激な円高を抑制するのに効果がある」

9月7日

野田財務相

「必要なときに**断固たる措置**をとる」

「明らかに一方向に偏った動き」

9月8日

野田財務相

「円高には強い懸念をもっている」

「介入も頭に入れながら、**断固たる措置**をとる」

野田財務相

「重大な関心を持って今日も動向を見ている」

「必要なときには**断固たる措置**をとる」「政府の方針は出ている。必要なときには**断固たる措置**をとる。**断固たる措置**の内容はと理解いただいていると思う」

小沢前民主党幹事長

「日銀は独立している、政府が指図するものではない」

「低金利継続しており、金融政策での対応は限界きている」

「為替市場介入もやるべき」

「単独介入が効果あがらないのは事実だが、それぐらいの覚悟で当局は対応すべき」 **介入という対応は政府内で固まっている**

9月9日

野田財務相

「為替の問題を含め、足もとの経済・金融情勢は下振れリスクが高まっている」

池田財務副大臣

「必要なら積極的に措置をとる」

9月10日

経済対策 政府

「政府は必要な時には為替介入を含め**断固たる措置**をとる」

荒井国家戦略相

「これまでに比べ一段と強い表現＝経済対策での為替介入表現で」

菅首相

「国際的な場で日本から明確なメッセージ出すべきとの意見を日銀にも伝えたい」

「為替が乱高下激しい状況であれば、**断固たる措置**を取る」「**（日本が）何らかの行動をとった時に、ネガティブなことを言わないで欲しいといろいろやっている**」\*\*日本単独介入への理解を求めて努力していることを明らかに

小沢氏

「政府は市場介入も辞せずと強く表明すべき」

単独介入に関して各国の中央銀行に了解を求め、**いつでも急落したら東京にある銀行を通じて介入で24時間対処する方法を確立したと思われる。**

### <リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

### <注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)により、大きな利益を得る場合がありますが、元本(預託金)を上回る損失発生の可能性があり、元本や利益を保証するものではありません。

特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。また、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)についても通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、プラスの場合もあれば、マイナスの場合もあります。

当社では、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断によりお取引ください。

商号：JFX株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：関東財務局長(金商)第238号

加入協会：金融先物取引業協会 会員番号1503